



# 2012年3月期 決算説明会 資料（要約）

2012年5月15日  
日本ケミコン株式会社



Change from One, Change for All

# 2011年度連結業績概要



# 2012年3月期 連結業績概要

(単位：百万円)	2010年度	2011年度	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高	127,790	100,290	27,499	21.5%
営業利益	8,155	2,596	10,752	-
経常利益	6,744	2,633	9,377	-
当期純利益	3,297	4,909	8,207	-

## 製品別 売上高

(単位：百万円)	2010年度	2011年度	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
アルミ電解	107,274	84,520	22,753	21.2%
その他コン	5,775	5,073	701	12.2%
回路	2,612	0	2,612	-
機構	3,361	3,074	286	8.5%
材料	6,736	5,426	1,309	19.4%
その他	2,030	2,195	165	8.1%
計	127,790	100,290	27,499	21.5%

# 設備投資・減価償却費・研究開発費・為替レート

(単位：百万円)	2011年 3月期	2012年 3月期	対前年同期 増減率
設備投資	9,614	13,521	40.6%
減価償却費	8,392	8,493	1.2%
研究開発費	3,642	3,966	8.9%
平均為替レート (US\$)	85.72	79.08	7.7%の円高
平均為替レート (EUR)	113.12	108.98	3.7%の円高

Change from One, Change for All

# 2012年度業績見通し



## 戦略5 市場別需要予測（2012年度）

### カーエレクトロニクス

エンジンコントロールユニット：欧州財政不安の影響を受けるものの堅調な推移見通し

### 産業機器インバータ

汎用インバータ：新興国での生産設備投資が拡大見込み

### 新エネルギー

太陽光発電インバータ：欧州景気の影響と市場在庫過多で横這い

### 生活家電

インバータエアコン：中国の省エネ規制、高級品志向を背景に伸長

### ネットワーク

PC：Windows 8、Ultrabook人気の拡大に伴い成長率が回復 液晶TV：減少傾向

## 戦略5 市場売上計画（2012年度）

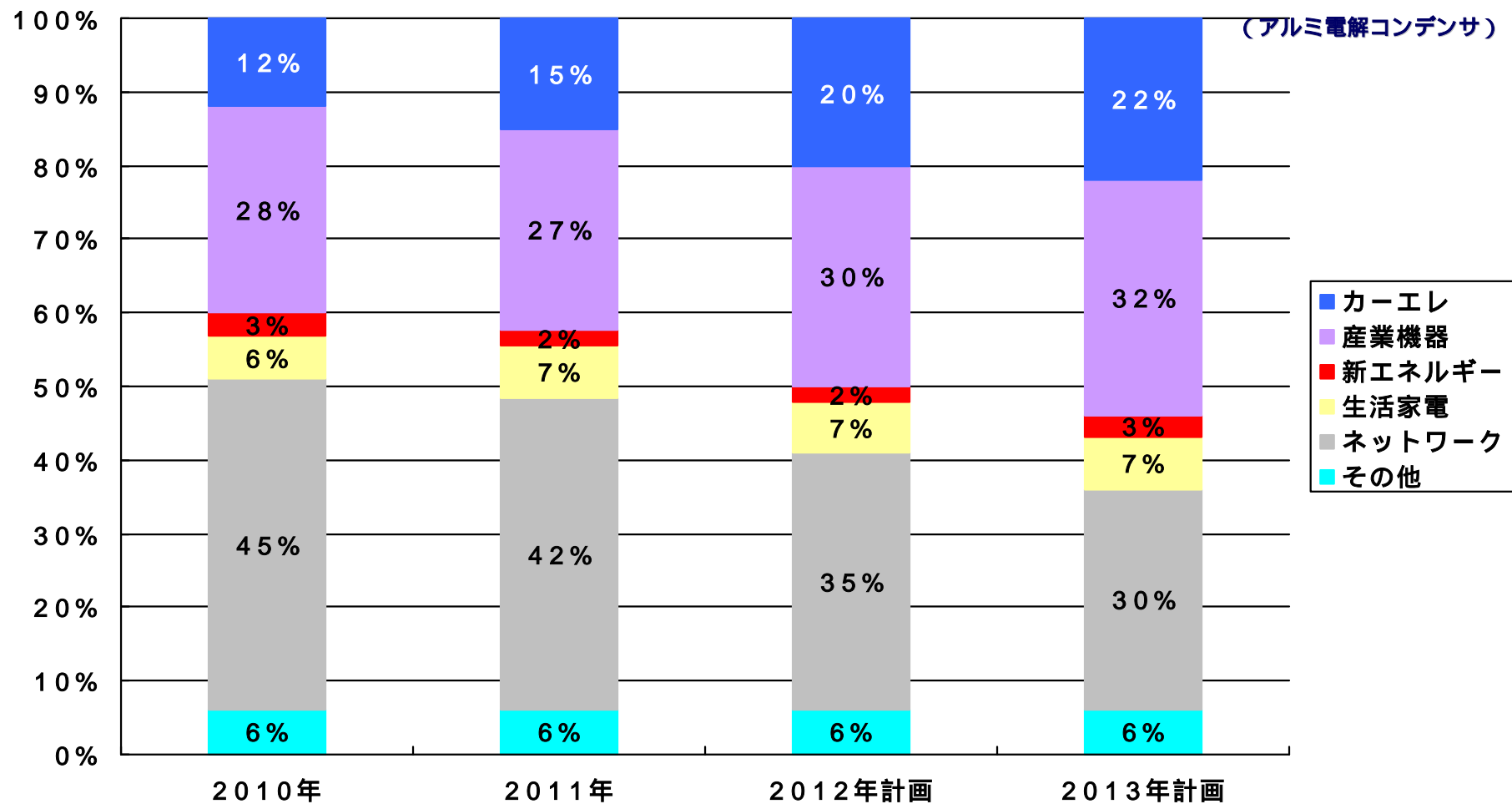
販売構成比：カーエレ、産機インバータ増加、ネットワーク漸減

対象：アルミ電解コンデンサ	2010年度	2011年度	2012年度計画
カーエレクトロニクス	12%	15%	20%
産業機器インバータ	28%	27%	30%
新エネルギー	3%	2%	2%
生活家電	6%	7%	7%
ネットワーク	45%	42%	35%
その他	6%	6%	6%
計	100%	100%	100%



# 戦略5 市場売上計画

新興国中心に民生機器から産業機器へシフトが進む！



## 製品別売上計画（2012年度）

2012年度は業績回復の第一歩！

単位：百万円	2010年度	2011年度	2012年度計画	2012/2010比
アルミ電解	107,274	84,520	99,400	93%
その他コン	5,775	5,073	5,200	90%
回路	2,612	0	0	- %
機構	3,361	3,074	3,100	92%
材料	6,736	5,426	5,500	82%
その他	2,030	2,195	1,800	89%
計	127,790	100,290	115,000	90%

## 業績予想（2012年度）

2012年上期営業利益黒字転換、通期当期純利益黒字化！

単位：百万円	2010年度	2011年度	2012年度		
			上期	下期	通期
売上高	127,790	100,290	52,000	63,000	115,000
営業利益	8,155	2,596	0	3,000	3,000
経常利益	6,744	2,633	500	2,800	2,300
当期純利益	3,297	4,909	1,100	2,100	1,000

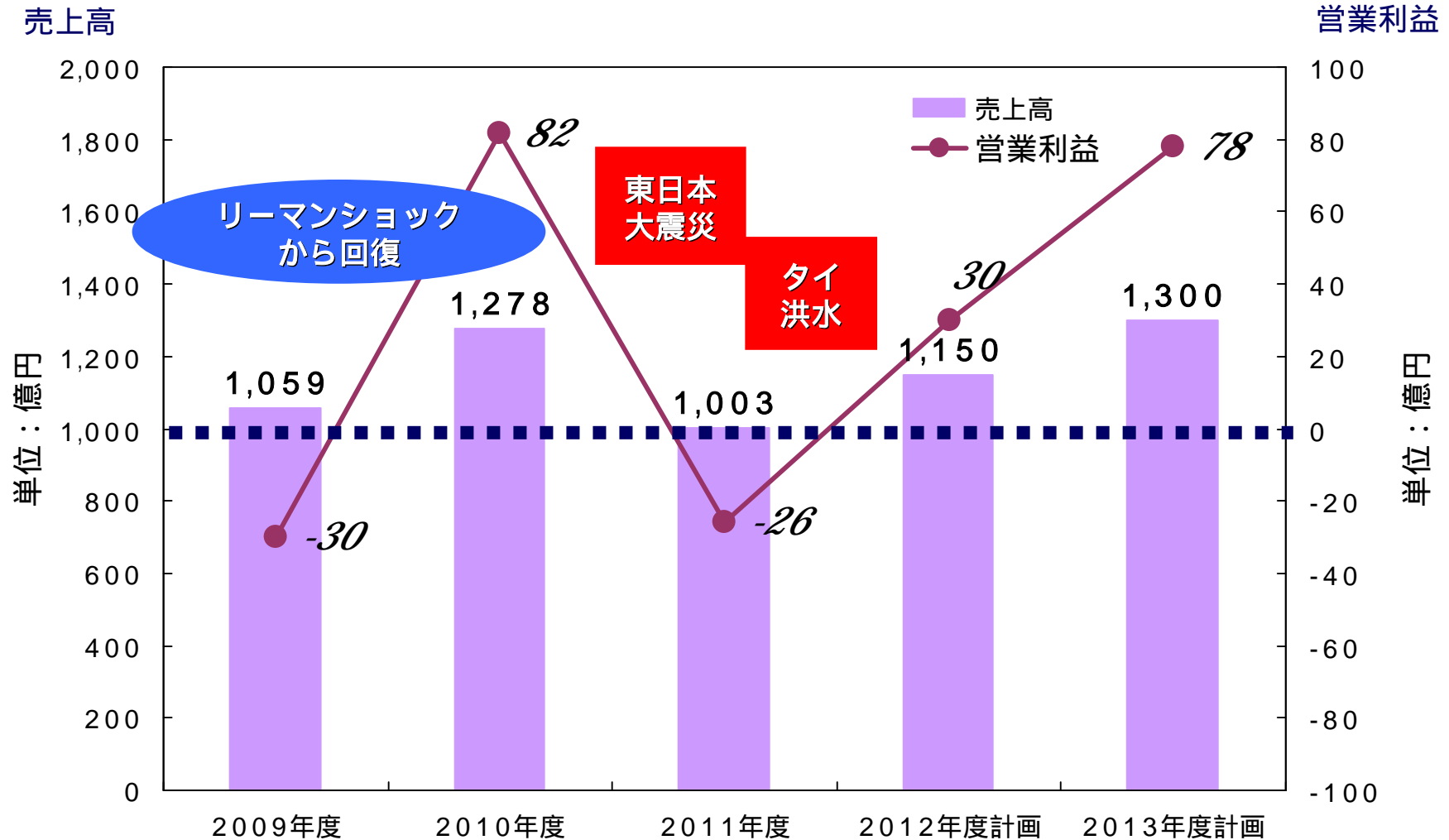
## 業績予想の前提条件（2012年度）

2012年度 設備投資は圧縮、研究開発は先行投資として増額

単位：百万円	2010年度	2011年度	2012年度
設備投資	9,614	13,521	6,000
減価償却費	8,392	8,493	9,200
研究開発費	3,642	3,966	4,000
平均為替レート (US\$)	85.72	79.08	80.00
平均為替レート (EUR)	113.12	108.98	105.00

## 2. 2012年度 業績予想

2012年度は、2013年度の本格的業績回復に向けた準備の年！



Change from One, Change for All

# 2012年度重点施策



## 2012年度 重点施策

- 1 . 全製品におけるグローバル価格競争力の向上
- 2 . 新興国を中心とした更なる海外事業展開強化
- 3 . 新製品開発力強化（研究開発体制の充実・強化）
- 4 . 新規事業の立上げ（電気二重層キャパシタ）



**(注意事項)**

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測につきましては、  
本資料作成時点において入手可能な情報により当社が合理的に判断した予想であり、  
実際の業績は今後様々な要因により変動する場合がございます。